

背景・課題

文化財は次世代に継承すべき重要な国民の財産として国が保護しているものであり、火災等による滅失、震災等による毀損等が発生しないよう、防災対策を充実する必要がある。また文化財の活用にあたっては、見学者等の安全を確保する必要がある。このために必要な**防火対策、耐震対策に係る施設整備**について補助を実施するものである。（補助率：最大85%）

事業内容

【実施内容】

- ・個別の文化財特性に応じた**防火施設の整備**
- ・老朽化または、毀損した防火施設の更新
- ・盗難や放火等の不審者から文化財を護る防犯施設整備
- ・耐火構造の保存活用施設の整備
- ・耐震性能の劣る建造物の**耐震対策工事**
- ・城郭の**防火、耐震対策等の整備**

補助事業者：所有者、管理団体等

補助金の額：原則、補助対象経費の1/2

※財政状況による補助率の加算あり（最大35%）

【対象文化財】

- ・重要文化財（建造物）・重要文化財（美術工芸品）
 - ・重要有形民俗文化財・史跡名勝天然記念物
 - ・重要文化的景観・重要伝統的建造物群保存地区

早期発見


(R型受信機)


(光電分離式煙感知器)

高機能な自動火災報知施設を設置し、迅速に初期消火へ

初期消火


(易操作性1号消火栓)

初期消火、火災の拡大を防ぐための**消火栓施設等**

延焼防止


(放水銃)

近隣火災から護るための**放水銃、ドレンチャー等**

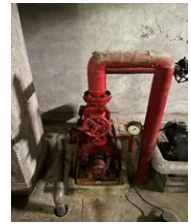
耐震対策





松江城天守の木製格子壁による補強

老朽化対策





老朽化した消火ポンプの更新

アウトプット（活動目標）

- 令和5年度末時点の進捗（国土強靱化5か年加速化対策関係）
(令和3年～5年の実績)
- 防火対策
建造物：76件を整備（R6.3月末時点）
(令和3年度からの進捗率74%)
 - 耐震対策：78件の整備に着手（R6.3月末時点）
(令和3年度からの進捗率75%)

短期アウトカム（成果目標）

- 防火対策（令和6年度までに）
建造物：不特定多数の者が入場する世界遺産・国宝の対策進捗率100%（103件）
- 耐震対策（令和7年度までに）
不特定多数の者が滞留する可能性の高い国宝・重要文化財建造物207件の内、耐震対策着手率50%（104件）

長期アウトカム（成果目標）

- 国民の宝である、国宝・重要文化財建造物や、博物館等に保管の有形文化財を、焼失・滅失、毀損から守る。
- 見学者等の安全を確保することにより、文化観光資源としての活用促進が図られる。